

取組名称：「全国の地域で活躍できるプロフェッショナル〈まちづくりリスト〉育成プログラム」による大学間連携
構成大学：法政大学、札幌学院大学、高知工科大学、沖縄大学

● 大学間連携の目的

日本全国におけるまちづくりの担い手育成のためのする取組である。地域活性化が叫ばれながら、日本では専門家は育成されてこなかった。また、地域活性化の標準的方法論も確立されていない。本取組は4大学で地域活性化の方法論を確立しながら、深い知識と豊富なスキルを学習し、全国で活躍できる専門家を育成しようとするものである。

法政大学、札幌学院大学、高知工科大学、沖縄大学の4大学は、異なる特性の地域に立地し異なる課題に対応することを通じて地域活性化の社会貢献を通じて教育活動を進め成果を上げてきた。本プロジェクトにおいては、それらを共有化し、さらに共同で地域活性化の方法と教育プログラムの開発に取組むことにより、実践的な地域活性化人材を育成するものである。

● 連携取組の内容

- 地域づくりの方法論の共同開発
- 遠隔同時中継システムの導入
- まちづくりリストの要件定義と教育方法論の開発
- 4大学共通講座の開設
- 国際シンポジウムの開催
- 地域力指数の開発

● 期待される効果

- 異なる地域の課題に共同で取り組むことにより、普遍的な地域活性化方法論に到達できる。
- 未知の地域の実態や課題を広く共有することで、地域の問題をより客観的に知ることができる。

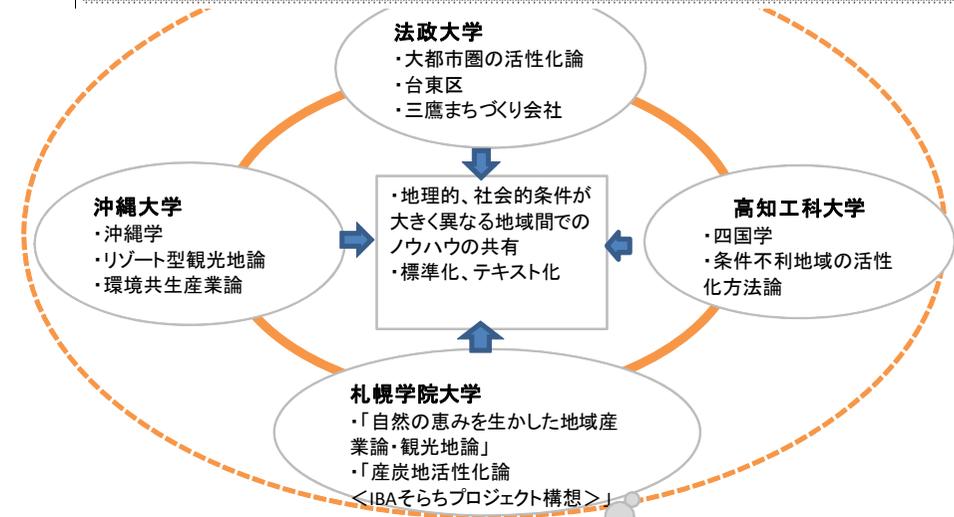
全国の地域で活躍できるプロフェッショナル〈まちづくりリスト〉育成プログラム

まちづくりリスト

- ・スペシャリスト: 専門家、博士課程修了者→「地域活性論」+関連2科目+インターンシップ(6ヶ月×4カ所)+RA
RAとして各地で本取組の手伝い
- ・1級: 修士課程修了者→「地域活性論」+関連2科目+インターンシップ(3ヶ月×帰属大学を含め3カ所)
各地で本取組の手伝い
- ・2級: 学部修了者、地域住民→「地域活性論」+関連科目+インターンシップ(1ヶ月×帰属大学を含め2カ所)

修了生、卒業生の質保証＝地域づくりに関する学士力の日本標準を作成

- ・知識、技能、地域づくりの担い手としての態度、創造的思考力
- ・ネットワーク形成を通じた「地域の相対的分析力」を担保
- ・遠隔授業、インターンシップ・相互交流、発表会・小論文



修了生、卒業生の質保証＝地域づくりに関する学士力の世界標準に挑戦

- ・海外現地調査、海外の諸大学との交流(教員、学生)
- ・中山間地観光・・・ザンクトガレン大学(スイス)
- ・産業構造の転換・・・ウッパータール大学(ドイツ)、エジンバラ大学(イギリス)
- ・産業創出・・・ヘルシンキ大学、ヨンショーピン大学(スウェーデン)